

●モンゴル

消費者信頼感指数 (CCI) は、モンゴルの消費者が経済の全体的な状態と彼らの財務状況について感じる楽観的な度合いを測定する。人々の支出と貯蓄活動は、収入と収入の安定性についてどの程度自信を持っているかにかかっている。経済が拡大するにつれて消費者の信頼が高まると、消費者はより多くの購入を行うことになる。ただし、経済が縮小するにつれて消費者の信頼が低くなると、消費者は支出を削減し節約する。したがって CCI は、総需要の予想される変化に関する貴重な情報を提供できる。モンゴル国立大学の国立調査コンサルティングセンター (NRCC) とモンゴル日本人材開発センターは、全国を代表するサンプルの 1000 人を超える個人を対象に、四半期ごとに CCI 調査を実施している。CCI には 2 つのコンポーネントがある。現況指数 (CSI) と予想指数 (EI) である。

2019年の第4四半期に、モンゴルの CCI は前年同期から 4.1 ポイント増加し 94.0 に達した。予想指数がこの増加に貢献した。予想指数は 10.5 ポイント (9.3%) 増加して 123.4 に達した。ただし、現況指数は前年同期の 55.3 から 5.6 ポイント (10.1%) 減少し、49.7 に達した。現況指数は過去 3 年間で初めて低下した。

2019年の第4四半期に、消費者の 12.5% が 1 年以内に財務状況が改善したと回答し、28.8% が財務状況が悪化したと回答した。さらに改善が報告された回答者の割合は 1.0 ポイント増加し、悪化が報告された割合は 3.9 ポイント減少した。

耐久財の需要は 2020 年の最初の 2 四半期に減少する。2019 年の第 4 四半期の時点で、消費者の 16.7% が観光を計画しており、11.4% が主要な家電製品、家具の購入を計画しており、7.3% が不動産を購入し、15.4% が自動車を購入する予定である。これらの数字は、観光を除いて 2018 年の同時期よりも低いレベルである。

CCI 分析のもう一つの重要な部分は、消費者価格、為替レート、住宅価格、金利などの価格予想である。予想インフレ率は 4% で、2018 年第 4 四半期の予想レベルから 0.6 ポイント上昇した。来年の予想インフレ率は 7% と推定される。ウランバートルでは、来年の予想インフレ率は 7.3% であり、農村部の予想インフレ率から 0.5 ポイント高くなっている。

今後 6 か月の平均予想為替レートは 2799 トゥグルグ / 米ドルである。2019 年第 4 四半期の米ドルの実際の為替レートと比較すると、予想レートは約 72 トゥグルグ高くなっている。2019 年の第 4 四半期の為替レートへの高い予想に応じて、外貨預金を好む消費者の割合もわずかに増加

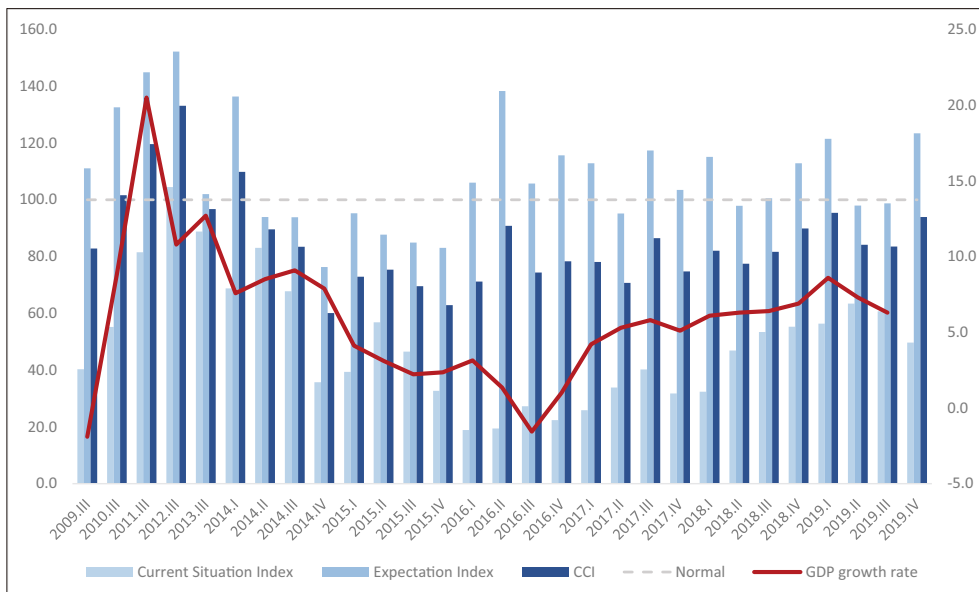
し、20% に達した。

住宅価格予想の指標は、来年の住宅価格の変化に対する消費者の認識に基づいて計算されます。消費者が住宅価格が安定することを予想する場合、この指標は 1 を取る。消費者が住宅価格の上昇を予想する場合、指数は 1 より大きく、消費者が価格の低下を予想する場合、指数は 1 より小さくなる。2014 年の第 4 四半期以降、消費者は価格の下落を予想していた。2019 年の第 4 四半期のインデックスは 1.3 である。これは価格上昇の予想を示している。

2019 年の第 4 四半期に、39.1% の消費者が金利の安定を予想した。金利の上昇という回答は 15.2% と最小である。消費者の 18.5% は来年には金利が下がると回答した。来年の金利の変化について分からないという回答は 27.2% である。

国立調査コンサルティングセンター (NRCC) 所長
 モンゴル国立大学経済学部准教授
 アルタンツェツェゲ・バトチュルーン
 モンゴル日本人材開発センター所長
 ダワードルジ・ツェンドグワ
 NRCC 研究員
 モンゴル国立大学経済学部准教授
 ソヨルマー・ノボトバフ

図 消費者信頼感指数 (CCI)



(出所) GDP データは国家統計局